

< 本校における「キャリア教育の捉え」 >

職業観・就労観を育むワークキャリアを含んだ生活全体を指すライフキャリアの考え方を基盤とする。その中で、現在の生活及び卒業後の姿を想定し、小学部から高等部までの各段階に応じたキャリア発達の育成を図りながら、児童生徒の心の成長を促し、家庭生活や学校生活、社会生活に必要な基盤となる「知識、技能」や「思考力、判断力、表現力等」及び「学びに向かう力、人間性」を育む。具体的には、「自分は何ができるようになりたいのか、どう生きていきたいのかを考える」や「自分の役割が何かを知る」、「やり遂げて認められる、自分に自信をもつ」など、児童生徒の心の成長を大切にする。

< 「キャリア教育で育成すべき力」と「身につけてほしい力」の構造 >

身につけてほしい力

キャリア教育

キャリア教育で育成すべき4つの力(基礎的・汎用的能力)は、本校で考える「身につけてほしい力」に**含まれている関係**と捉え、「身につけてほしい力」を踏まえた授業づくりを進めることで、キャリア発達の育成を図ることにつながると考える。また、キャリア教育で育成すべき4つの力は、身につけてほしい力の4つの大項目(「自ら動く」「人や物と関わる」「友達と協力する」「自立と社会参加に向かう」)や16の小項目にまたがって位置づけられるとし、それぞれを相互に関連させながら、教育活動を展開させていく。

「キャリア教育で育成すべき力～基礎的・汎用的能力～」と「身につけてほしい力」の関連

人間関係形成能力 ／社会形成能力	自己理解/ 自己管理能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
④見たり聴いたりする力	①健康である力	②姿勢を保つ力	⑤興味関心を広げていく力
⑥意思を表出する力	②姿勢を保つ力	③運動・動作を高める力	⑥意思を表出する力
⑧身近な大人と関わる力	③運動・動作を高める力	④見たり聴いたりする力	⑦選択する力
⑨他者を理解する力	⑤興味関心を広げていく力	⑥意思を表出する力	⑧身近な大人と関わる力
⑩友達と関わる力	⑪役割を果たす力	⑦選択する力	⑪役割を果たす力
⑪役割を果たす力	⑫余暇を楽しむ力	⑧身近な大人と関わる力	⑫余暇を楽しむ力
⑮挑戦する力	⑬新しい環境を受け入れる力	⑪役割を果たす力	⑬新しい環境を受け入れる力
⑯社会に参加する力	⑮挑戦する力	⑬新しい環境を受け入れる力	⑮挑戦する力
		⑭手段を活用する力	⑯社会に参加する力

長崎特別支援学校

教育活動全体計画

(キャリア教育を含む)

令和元年度

【学校の教育目標】 創意工夫ある教育活動を通して、児童及び生徒一人一人の育成すべき資質・能力をバランスよく伸ばすとともに、個々の児童及び生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって「生きる力」を育む。
「生きる力」を育むに当たっては、学校教育を通じて身に付けた知識及び技能を活用しながら、健康で、豊かな心をもって主体的に生きていこうとする児童及び生徒を育てる。

	小学部	中学部	高等部
めざす姿	①興味や関心を引き出し、意欲的に学びながら、日常生活や社会生活に必要な知識や技能の習得を図る。 ②身に付けた力を発揮しながら、いろいろなことに取り組もうとする意欲や態度を育てる。 ③身近な人に自分の意思や考えを伝え、他者と関わろうとする力を育てる。 ④様々な生活経験を通して、自分の役割を意識しながら、社会参加の素地となる力を高める。	①興味や関心を広げ、達成感を得ながら、日常生活や社会生活に必要な知識や技能の習得を図る。 ②身に付けた力を精一杯に発揮しながら、最後まで粘り強く取り組もうとする意欲や態度を育てる。 ③身近な人や友達に自分の意思や考えを伝える力や他者の意図を理解する力を高め、自ら関わりをもつ力を育てる。 ④様々な生活経験を拡大し、自分の役割を理解しながら、社会参加に必要な力を高める。	①興味や関心を高め、主体的に学びながら、卒業後の生活に必要な知識や技能の習得を図る。 ②身に付けた力を自信をもって発揮しながら、他者と協力して取り組もうとする意欲や態度を育てる。 ③周囲の人と関わるなかで、自分の意思や考えを伝える力や他者の意図を理解する力を高め、積極的に関わりをもつ力を育てる。 ④様々な生活経験を生かして、自分の役割を果たしながら、自立に向けて必要となる力の習得を図る。

身につけてほしい力／キャリア教育で育成すべき力

学習指導要領

教育課程（内容・時数）

日々の教育活動（授業）：各教科、教科等を合わせた指導、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動、自立活動

各教科等

自立活動

個別の指導計画

- ・学習指導要領(目標、内容)
- ・学習到達度チェックリスト(国語・算数)(音楽)

- ・学習指導要領(6区分・27項目)
- ・実態把握チェックリスト

実態把握（各種アセスメント、学習の履歴、生育歴）

個別の教育支援計画